

教科	国語		科目	現代文 B	単位数	2
学年	2年		類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編現代文 B (東京書籍)					
副教材(出版社)	新編現代文 B 学習課題ノート (東京書籍)					
授業の概要	教材の読解を通して、基礎的な理解力や要旨を把握する力を養う。また、グループ学習などを通して多様な思考に触れ、主体的な考察を行うとともに、自身の思考を表現したり発表したりする。					
授業の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。様々なジャンルの文章を的確に理解する能力を養成し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、豊かな感受性を養う。					
年間 学習 計画		学習内容(単元・項目)		学習目標		
		1 学期	1 随想 ・さくらさくらさくら	・桜の花に対する日本人独自の感性と筆者の思いを理解する。		
			2 詩歌 ・I was born	・散文詩を読み、蜻蛉のイメージに託された生命への思いを深く味わう。		
			3 評論1 ・生命とは何か	・論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議について理解する。		
2 学期	4 詩歌 ・信濃路	・短歌の修辞技巧を理解し、それぞれの短歌に詠まれた情景や作者の思いを読み取る。				
	1 小説1 ・みどりのゆび	・小説における表現の工夫を理解し、場面展開を的確に読み取る。				
		2 評論2 ・思考の肺活量	・人物関係や、主人公の心情を読み取り、自分の感想を文章にまとめる。			
3 学期	3 働くよろこび ・分からないからおもしろい	・論理の展開を正確に読み取らせ、思考のあるべき姿について理解する。				
	1 小説 3 ・こころ	・抽象的な概念を表す語句を理解する。				
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、発展させているか。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けているか。	
備考	5つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					